

一般社団法人 日本鉱物科学会
2024 年度 第 3 回定例理事会 議事録

- 【1】 招集年月日: 2025 年 8 月 2 日(土)
- 【2】 開催年月日及び時刻: 2025 年 8 月 21 日(木) 16 時 00 分~18 時 10 分
- 【3】 開催場所: 広島大学理学部 井上研究室
739-8526 広島県 東広島市 鏡山 1-3-1
(ZOOM Meeting によるオンライン会議)
- 【4】 理事総数および定数: 総数 22 名, 定足数 12 名
- 【5】 出席理事数: 20 名 全員 Zoom 出席
会 長: 井上 徹
副会長: 中村 美千彦
理 事: 安東 淳一, 秋澤 紀克, 大藤 弘明, 鍵 裕之, 河上 哲生, 栗林 貴弘, 黒沢 正紀,
佐久間 博, 瀬戸 雄介, DAS Kaushik (ダス カウシク), 土屋 旬, 富岡 尚敬,
永鷲 真理子, 中野 伸彦, M. Satish-Kumar (マドスーダン・サティッシュ・クマール),
三河内 岳, 森下 知晃, 辻森 樹
- 【6】 欠席理事数: 2 名
片山 郁夫, 芳川 雅子 (柴田雅子)
- 【7】 出席監事: 永井隆哉
- 【8】 オブザーバー: (理事以外の幹事, 委員長等報告事項報告者)
出席: 興野 純 (和文誌編集幹事), 阿部 なつ江 (会員幹事, 地球惑星科学連合連絡担当委員),
小松 一生 (庶務副幹事), 斉藤 哲 (広報幹事), 西原 遊 (地球惑星科学連合学会選出プログラム
委員・正), 福士 圭介 (地球惑星科学連合学会選出プログラム委員・副), 東野 文子 (Elements
幹事)

【9】 議事概要

井上理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり, 安東淳一理事が議長に選出された。次に, 決議定足数と開始時刻における出席理事数の確認を行い, 理事 20 名の出席を確認したので, 定款 30 条により理事会が成立した。このことを受け, 安東議長は WEB 会議システム(ZOOM Meeting)を利用したオンライン会議としての理事会開会を宣言した。また, WEB 会議システムの通信状況(出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり, 適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題がないことを確認し, 2024 年度第 3 回定例理事会を開始した。

会議に先立ち, 理事の互選で小松一生庶務副幹事が書記として選出された。

I. 報告事項

1. 行事・年会報告（瀬戸行事幹事）

瀬戸行事幹事より、2025年年会・総会の準備状況について報告があった。会期は2025年9月10日から12日まで山口大学で開催され、総会は11日の午前、理事会は最終日の12日15時45分から16時45分に行われる。講演申込件数は230件で、口頭発表141件、ポスター発表89件に振り分けられた。招待講演は17件、発表賞エントリーは65件であり、後者については選考委員の増員が必要であることが示された。企業展示は現地出展10件、バナー広告5件であり、昨年より増加した。財政面では、山口観光コンベンション協会および山口大学基金からの補助を受け、黒字見込みであることが報告された。また、会期中には若手企画のショートコースや鉱物クイズなどのイベントが予定されている。

さらに、将来の年会についても報告があり、2026年は東京大学で開催予定であるが、火山学会と会期が重複するため、オンラインでの共催セッションを検討中である。また、2027年は東北大学での開催を予定しており、LOC委員長は辻森教授が務めることが内定している。

2. 会員報告（阿部会員幹事）

阿部会員幹事より、2024年度第2回定例理事会（2025年5月15日）以降の会員動静について以下の通り報告がなされた。

退会者22名（一般会員8名、学生会員7名、シニア会員7名）

会費2年未納のため資格停止5名

この結果、2024年8月19日現在の会員数は

839名(2025/5/15定例理事会)-22(退会)-5(資格停止)=812名 となった。

なお、47名の入会申し込みに対し、この後審議を行う。

3. 和文誌編集報告（興野 和文誌編集幹事）

興野和文誌編集幹事より、第2回定例理事会報告以降の編集、出版状況が議事資料に沿って報告された。電子ジャーナル54巻1号3編が公開された。出版ページ数は例年並みであり、編集は順調に進んでいる。また、鉱物名の表記方法について、新たにガイドラインを定めることが決定され、総会で会員に周知する予定である。

4. 英文誌編集報告（Satish-Kumar 英文誌編集幹事）

Satish-Kumar 英文誌編集幹事より、第2回定例理事会報告以降の編集、出版状況が議事資料に沿って報告された。2024年のJMPS Impact Factorは1.0となり、2022年の0.7、2023年の0.9から微増傾向にある。6月号からクリエイティブ・コモンズライセンスが適用され、投稿規定やウェブサイトの表示も更新された。また、特集号の企画を募集しており、会員に積極的な提案を呼びかけた。

5. JpGU 連絡担当報告（阿部連絡担当委員）

阿部連絡担当委員より、2026年5月に開催されるJpGU大会について報告があった。次回はAGUとのジョイントミーティングとして実施されるため、英語でのセッション提案および発表を積極的に行うよう依頼があった。セッション提案受付は9月17日から開始される。

6. 事務局（東北大学）の整理、及び事務局の小宮山印刷仙台営業所への移転について

（井上会長，安東庶務幹事，富岡会計幹事）

井上会長より，事務局を東北大学から小宮山印刷所へ移転したことが報告された。これにより，事務所使用料および水道光熱費など約9万円の経費削減が見込まれる。定款には事務局所在地を「宮城県仙台市」と記載しているため，今回の移転に伴う定款変更は不要である。

II. 審議事項

第1号議案 新入会員承認（阿部会員幹事）

阿部会員幹事より，一般会員7名，シニア会員1名，学生会員39名の入会申請が紹介された。審議の結果，47名すべて異議なく入会が承認された。この結果，2025年8月21日現在の会員数総数は859名（内訳 一般会員515名，シニア会員170名，学生会員125名，永年会員40名，名誉会員9名）で，2025年5月15日の第2回定例理事会後より20名の増加となった。

第2号議案 会員カテゴリーについて（阿部会員幹事）

阿部会員幹事より，会員数の減少を食い止める施策として，会員区分の見直しについて提案があった。主な検討事項は，①高校生や学部生を対象とするジュニア会員制度の創設，②シニア会員の会費設定の見直し，③ライフ会員制度の導入である。財政的には実施可能との見通しが富岡会計理事から示され，今後，将来企画委員会で詳細を検討することとなった。必要に応じてワーキンググループを設置する方針である。

第3号議案 学生会員費について（阿部会員幹事）

阿部会員幹事より，学生会員の会費負担軽減を目的とした「学生会員バック制度」導入について提案が行われた。提案内容は，博士課程修了までの一括支払いにより，通常より割安となる会費体系を設けるというものである。議論では，学生の学会参加を促進する効果が期待される一方，退学や進路変更などによる返金対応の複雑さが指摘された。結論としては，今後の詳細設計を将来企画委員会で検討し，次回理事会に案を提出することで一致した。

第4号議案 2025年度修正収支予算案について（富岡会計幹事）

富岡会計幹事より，第2回定例理事会で承認された2025年度予算について，①7月31日の決算後の確定繰越金計上，②8月21日現在（議事資料では古い情報だったとのことで，後日修正されることになっていたかと記憶しています。ご確認ください）の会員数などを反映して予算を改訂した旨報告され，修正収支予算案について再度審議された。主な変更点として，8月21日現在の会員数を反映した予算としたこと，年会のハイブリッド開催を目的とした大口の寄付金があったこと，ホームページの更新作業を事務局に委託するための追加費用が掛かること，ホームページの管理費・維持費の値上がりに伴う予算修正の4点が報告された。審議の結果，異議なく承認された。

現状健全な財政運営が維持できているが，今後の会員数の動向や物価の変動に注視して，今後も慎重に運営していく必要がある旨付言があった。

第5号議案 2024年度（一般社団法人第9期）決算及び事業報告の審議 （井上会長，富岡会計幹事，安東庶務幹事，永井監事）

議事資料「2024年度総会資料，決算及び事業報告」に基づき，説明，審議を行った。

1. 決算説明：2024年度（第9期）決算について（富岡会計幹事）
2. 事業説明：2024年度（第9期）事業報告について（総会資料）（井上会長，安東庶務幹事）
3. 監査報告：（永井監事）

第6号議案 寄付金受け入れ体制について（富岡会計幹事）

富岡会計幹事より，寄付金受け入れに関するガイドライン案が提示された。ガイドラインの概要は，寄付金を特定資産「国際学会・年会基金」（IMAの日本開催の準備金など）用の銀行口座に入金すること，ただし，上記寄付金と既存の国際学会・年会基金は，厳密には用途が異なるため，会計システム上は両者を独立に管理する，というものである。審議の結果，異議なく承認された。

第7号議案 定時社員総会招集のための審議（井上会長）

議事資料に基づき，定時総会の開催日及び場所，目的事項（報告事項，決議事項）について説明され，審議の結果，異議なく承認された。

第8号議案 社員総会への「電磁的方法(電子メールなど，FAX)」による代理人による議決権の行使(委任状)と書面による議決権行使について（安東庶務幹事）

議事資料に基づき，定款に規定されている，社員総会に出席しない社員による「代理人による議決権の行使(委任状)と書面による議決権の行使」について，電磁的方法(電子メールなど，FAX)」による議決権の行使を認めることとすることが提案され，審議の結果，異議なく承認された。

第9号議案 年会開催のガイドライン改正（瀬戸行事幹事）

瀬戸行事幹事より，近年年会において研究発表賞エントリー数が増大していることを受け，「日本鉱物科学会研究発表優秀賞」の上限人数，ならびに選考委員の人数，任期に関して，よりフレキシブルな対応が可能となるよう年会のガイドラインについての改正案が提示された。審議の結果，異議なく承認された。

第10号議案 研究発表優秀賞選考委員会委員の任命および交代について （松本委員長，代理安東庶務幹事）

新ガイドラインに基づき，研究発表優秀賞選考委員会委員として，議事資料の通り新規1期目14名（委員長指名）ならびに継続2期目5名が推薦され，審議の結果，異議なく承認された。

第11号議案 地球惑星科学連合学会選出プログラム委員の選出について（井上会長）

井上会長より、以下の2名を地球惑星科学連合学会選出プログラム委員として推薦することが提案され、審議の結果、異議なく承認された。

福土 圭介(正委員)・秋澤 紀克(副委員)

その他

西原幹事より、次年度のJpGUのAGUとの共催に関して、セッションの発表言語についての確認があった。
小松副庶務幹事より、学生会員のパック料金に関連して若手の会費設定に関する他学会の取り組みについて紹介があった。

大藤理事より、第2回定例理事会でも報告された鉱物関係の書籍の執筆依頼にて執筆状況の報告がなされた。

【10】閉会

閉会 以上の議事を終え、18時10分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、出席した会長、副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和7年9月 日

会 長 井上 徹 印

副会長 中村 美千彦 印

監 事 永井 隆哉 印

(配布時押印省略)